

石峰&抱月のふるさと『地域まるごと博物館』

地域研究センター協議会

【参加団体】

西中国山地民具を守る会
波佐文化協会
能海寛研究会
ほたる湯館G・ゴルフ場

波佐ネット通信

No. 52 2016.6.20

企画展 『藍染の型紙展』

～波佐地方の紺屋の型紙 500 点～

波佐地方では、江戸時代（文政～天保）から紺屋職を営み村民の藍染を一手に行っていた。この型紙は、伊勢の白子型紙で、天保年間頃のものに見受けられる。

型紙は、美濃和紙を用いて、柿渋で3～4枚を重ね貼りした型紙紙に、錐彫、突彫、道具彫、縞彫の4通りの手法で7～8枚を重ねて、彫刻されたものです。図柄によっては、1枚を仕上げるのに1か月を費やすこともあるそうです。

この型紙は、半永久的に保存が可能だと言います。今回の展示は、500点の中から代表的な図柄80点を展示します。

会期：7月1日（金）～28年12月28日（水）

会場：浜田市金城歴史民俗資料館

開館日：土・日曜日 Am9:00 — Pm5:00

入館料：大人300円、中学生100円、小学生60円

2館共通券、団体割引25名以上。

※団体などの平日の入館希望の場合は、前日までに電話予約をお願いします。

浜田市金城資料館指定管理者 ☎ 090-4697-2818（西中国山地民具を守る会）



紺屋の型紙の一部